



おなりもんしょうがっこう

御成門小学校

御成門小学校



校名の由来

日本最古の靱絵（ともえ）小学校をはじめとする、長い歴史と伝統をもつ5つの学校が統合されてできました。校名は地域の史跡から名付けられました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 阿部 俊幸

所在地 港区芝公園3-2-4

電話番号 3431-2766

HPアドレス <https://onarimon-es.minato-tky.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/onarimones>

交通 三田線 御成門駅 徒歩1分

特別支援学級 聴覚障害（きこえの教室）通級指導学級
言語障害（ことばの教室）通級指導学級

職員数 31名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援 (通級)	合計
学級	3	3	3	2	2	2	3	18
児童数	93	83	79	70	75	55	46	455

教育目標

- よく考えずんで学ぶ子
- 力を合わせやりとげの子
- 心も体もたくましい子

学校の沿革

平成3年 桜田・桜・靱絵小学校の3校が統合し、御成門小学校開校

平成6年 桜川小学校が統合

平成7年 神明小学校が統合

平成13・14年度 港区教育委員会研究奨励校

平成19・20年度 港区教育委員会研究パイロット校

平成23年 校庭の人工芝化

平成22・23年度 港区教育委員会研究奨励校

平成26・27年度 港区教育委員会研究奨励校

平成27年 児童数増により視聴覚室の普通教室化工事

平成28年 体育館工事、エレベーター工事

平成30・令和元年度 港区教育委員会研究奨励校

令和2年度 児童数増により国際科ルームの普通教室化工事

令和3年度 開校30周年記念式典

令和6年度 小中一貫教育校御成門学園 開校予定

総合的な学習の時間

- 地域を学習の場とした「御成門学習」では、地域学習の充実に努め、国際理解・環境・福祉・伝統文化教育などについての課題解決学習に取り組んでいます。地域企業のご協力を得て、「街づくり」について出張授業をしていただきました。
- 日本アセアンセンターの協力を得て、ASEAN諸国の方を招いて国際交流をするなど、地域の方々をゲスト・ティーチャーとして招いた活動を展開しています。令和4年度は対面授業に戻して交流を行いました。

学校の特徴

- 認め合い、励まし合う場を通して、児童の自尊感情や自己肯定感を育てる学習が充実しています。
- 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるように、毎朝15分間の学習を行っています。週1回は「算数タイム」、週3回は「学習タイム（算数に限らない）」を設けています。
- 地域と連携した学習を行っています。東京慈恵会医科大学と連携した理科や保健の学習など、地域と連携した学習を行っています。芝公園の花植えなど、地域素材を生かした奉仕活動もしています。
- 人と関わり、思いやりのある温かな人間関係を築く活動を大切にしています。
 - ・縦割り班を活用した遊びやあいさつ運動を行っています。
 - ・全校で集合しての、全校朝会や児童集会や音楽朝会を行っています。
 - ・クラブの発表、委員会からの呼びかけなどを行っています。これらの活動を通して、上級生が下級生により良い行動のお手本を示しています。

こんな学校を目指しています

- 【明るく 笑顔あふれる 誰にとっても心地よい御成門小学校に】
「義務教育9年間をとおして、『自立』・『共生』する力を育む。」
「すべての教育活動において、安心・安全を第一優先とする。」
- 子どもが安心して心を開き、喜々として学ぶ学校
～どの子にも「優しい」、どの子にも「できる・分かる」指導を～
 - ・子どもがのびのびと自分らしく力を発揮できるように、教職員は、子ども一人一人により添い、行動の背景にある気持ちを理解するように努める。
 - ・その子のよさを見取り、認め、心から褒め励ましていく。
 - ・子ども一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を工夫し、それぞれの子どもが「分かった・できた」を実感できる授業づくりに努める。
 - 保護者・地域に愛される学校
～互いに理解し合い、それぞれの役目を担って連携・協働を～
 - ・保護者や地域の方には、日常の教育活動や子どもの様子を積極的に伝えるとともに、保護者や地域の方の声に耳を傾け、子どもファーストで取り組んでいく。
 - 地域に根ざした教育を実践する学校
～「地域を知り 地域とかわり 地域から学ぶ」実践を～
 - ・地域の特色を生かした学習や、地域の方との触れ合いを通じた学習により、子どもが地域を理解し、地域への愛着や地域に生きる一員としての自覚をもてるようにしていく。
 - ・学校と家庭、地域がそれぞれの役目を担って連携・協働して教育活動を進めていく。
 - 教職員が生きがいを感じる学校
～互いに学び合い高め合う教職員集団に～
 - ・「どの子にも『優しい』、どの子にも『分かる・できる』指導」を目指して、互いに磨き合い、高め合っていく。

児童の声

- 休み時間には、人工芝の校庭で思いっきり遊ぶことができます。転んでも痛くないです。
- 上級生のお兄さん、お姉さんがとても優しいです。一緒に遊んでくれるので、月1回の縦割り班活動を楽しみにしています。
- 先生や警察の方がいつも私たちを見守っていてくれます。地域の方も学校にいらして、私たちにいろいろと教えてくれます。
- 給食も美味しいよ!

特色ある教育活動

- 【豊かな心を育てる】
- ・縦割り班活動
 - ・ふれあい月間への取り組み
- 【確かな学力を身に付ける】
- ・算数タイム ・学習タイム
 - ・補習タイム
- 【健やかな体を育てる】
- ・運動朝会 ・水泳大会 ・マラソン大会
- 【豊かな国際感覚を育てる】
- ・ASEAN交流
 - ・国際理解・伝統文化ウィークの取り組み
- 【地域の人材や素材を生かした学習】
- ・地域防災訓練 ・クリーンキャンペーンへの参加
 - ・芝公園の花植え
 - ・地域行事への参加
- (区民まつり・平和祭り・水泳大会・どじょうつかみ・もちつき大会・新橋こいち祭などへの参加)



算数タイム

校内研究主題

相手意識をもって伝え合う力を高める指導の工夫
～「聞くこと・話すこと」の指導を通して～

PTA活動

出来る範囲で協力しながら活動しています。

クラブ活動の紹介

手芸・調理、ものづくり、ICT、文芸・イラスト、スポーツ、太鼓、バドミントン、科学・実験、ダンス

児童会活動の紹介

代表、放送、集会、環境、運動、保健給食、栽培、図書

学校生活の様子



運動会



ASEAN交流



東京慈恵会医科大学特別授業



中学校体験(御成門中)



プールでのヤゴ救出



書き初め会



しばしょうがっこう

芝小学校

芝小学校



校名の由来

校歌♪百船千船入り通う東京湾にほど近く♪の旧芝区にできた最初の学校として、地域・保護者の皆様から大切にされています。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 川原 哲郎
 所在地 港区芝2-21-3
 電話番号 3456-3072
 HPアドレス <https://shiba-es.minato-tyk.ed.jp/>
 Twitterアドレス <https://twitter.com/shibaeschool>
 交通 三田線 芝公園駅 徒歩3分
 職員数 26名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	3	3	3	3	2	2	16
児童数	81	89	84	74	65	57	450

教育目標

- 子どもたちの笑顔のために—
- よく考える子(確かな学力)
 - やさしい子(豊かな人間性)
 - げんきな子(健康・体力)

学校の沿革

明治12年 第一大学区東京府第二中学区第三十九番公立小学芝学校として開校
 昭和22年 港区立芝小学校と改称
 昭和53年 開校100周年記念式典挙行
 平成元年 港区立竹芝小学校と統合
 平成13・14年度 港区教育委員会研究奨励校
 平成16・17年度 港区教育委員会研究奨励校
 平成19年 港区教育委員会研究パイロット校
 平成23年 スポーツ教育推進校
 平成24・25年度 港区教育委員会研究奨励校
 平成30年 開校140周年記念式典挙行
 平成30・令和元年度 港区教育委員会研究パイロット校

総合的な学習の時間

- 各自の課題に応じた探究学習を進めます。
- 各学年の年間テーマに取り組みます。
 - 3年生 生き物図鑑をつくろう
つなげよう、未来へ!私たちのレガシー
学校やまちの安心・安全を旨として
 - 4年生 ごはんもりもりプロジェクト
10歳を祝う会をしよう
 - 5年生 福祉について考えよう 手と心で伝えよう
タブレットと仲良くなろう ロボットプログラミング
 - 6年生 港区OMOTENASHIプロジェクト

学校の特徴

- 教職員全体できめ細かい指導を行います。
- 花育・芝沖クルーズ等、地域の方々の御協力を得て様々な体験活動を取り入れています。
- 異学年での交流活動である縦割り班活動を行います。
- 芝シンフォニックプラス(4年生以上の希望者)による吹奏楽の体験、定期演奏会を実施します。

こんな学校を目指しています

地域の方々に愛される学校、保護者が「通わせてよかった」と思える学校、教員がやりがいを感じられる学校、子どもたちが「学校にきてうれしい、明日も楽しみ」と思える学校を目指しています。

標準服



児童の声

- わくわくタイムや休み時間に、体育館や校庭、屋上などで思い切り遊べるのが楽しいです。
- 運動会や音楽会などの行事に向かって、みんなで団結して取り組むことができます。
- 給食のメニューが豊富でとてもおいしいです。食べ物の好き嫌いがなくなりました。
- 図書館のイベントが楽しみです。たくさん本を読んで読書通帳をためていくのも楽しいです。
- 地域の方々の御協力のおかげで様々な行事をすることができます。地域に支えられていることを実感します。
- 様々な場面で活躍している6年生がかっこよくて、あこがれます。

クラブ活動の紹介

屋外球技、屋内球技、屋上、科学、囲碁・将棋、アート、タブレット、手芸、ゲーム、ダンス

保護者・地域の声

- 学習環境に恵まれています。地域ボランティアの方々の協力の下、様々な体験活動ができます。
- 校舎内がいつもきれいに清掃されています。図工の作品など掲示物にも目を引かれます。
- 芝小の地域は、子育て安全地域です。制服姿の子どもたちを地域社会が温かく見守っています。
- 学校行事の参観では、子どもたちの生き生きとした姿が見られるので、毎回楽しみにしています。

特色ある教育活動

- 豊かな人間性を育む
異学年での交流活動(なかよし班活動)を通して、互いを愛おしむ気持ちを育成します。6年生には最高学年としての自覚も育みます。花育を通して、おもてなしや感謝の気持ちを育成します。ミニコンサートや図工作品の掲示を通して豊かな心を養います。
- 確かな学力の定着
モジュール学習の時間に漢字・計算等の基礎基本の定着を図ります。地域の学習環境を生かし、多様で体験的な学習活動を設定します。ICT教育を推進し、子どもたちの主体的な学習に繋がります。
- 体力向上、健康の保持・増進
記録更新を目指して、チャレンジジャンプ(長縄)に取り組みます。持久走に継続的に取り組みます。食育を推進し、献立のテーマ等から多様な食について学びます。

学校生活の様子



プールでやごとり 運動会 芝シンフォニックプラス ハロウィンパレード なかよし班活動
 花育 チャレンジジャンプ 芝っ子まつり 芝沖クルーズ 染小紋体験

年間行事

- 1学期
入学式
運動会
＜夏休み＞5年生夏季学園
- 2学期
6年生移動教室
学習発表会
- 3学期
書き初め会
道徳授業地区公開講座
6年生を送る会
卒業式

児童会活動の紹介

運営、放送、図書、飼育・環境、運動、保健、給食、なかよし班

校内研究主題

筋道立てて考え よりよい考え
を見出す児童の育成
～問題解決型の授業を通して～

PTA活動

- どの部も協力し合い、様々な活動に取り組んでいます。
 - ・親子交流会
 - ・被災者宿泊体験(6年生)
 - ・芝っ子まつり



あかばねしょうがっこう

赤羽小学校

赤羽小学校



校名の由来

三田の大地から赤埴という赤い色をした土器がたくさん出土したことが由来とされています。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 中村 美奈子

所在地 港区三田2-6-2

電話番号 3451-1988

HPアドレス <https://akabane-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/akabaneeschool>

交通 大江戸線 赤羽橋駅 徒歩8分

特別支援学級 知的障害(ひまわり学級) 固定学級

職員数 33名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学級	4	3	3	3	3	2	2	20
児童数	135	100	93	96	89	76	9	598

教育目標

- 【徳】やさしい子
- 【知】かんがえる子
- 【体】げんきな子

学校の沿革

大正15年 赤羽尋常小学校として開校

昭和5年 校旗、校歌を制定

昭和22年 港区立赤羽小学校と改称

昭和45年 港区立赤羽幼稚園を併設

昭和50年 新校舎落成式挙行

平成7年 特別支援学級設置

平成13年 東京都算数教育研究発表会開催

平成18年 開校80周年記念式典祝賀会挙行

平成19・20年度 港区教育委員会研究奨励校(園)「生活科・総合的な学習」

平成23年 開校85周年記念式典祝賀会挙行

平成25・26年度 港区教育委員会研究奨励校「自ら考え 表現し 伝え合う児童の育成」

平成28年 開校90周年記念式典祝賀会挙行

平成30・令和元年度 港区教育委員会研究奨励校「体育」

令和元年 港区教育委員会研究奨励校研究発表会開催

令和5年 新校舎落成式挙行

総合的な学習の時間

- 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成します。
- 国際理解教育、情報教育、環境教育、福祉教育に関する学習を、地域人材や施設の活用を充実させながら実施し、主体的・対話的で深い学びに取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育みます。

学校の特徴

- 自分や他者を大切に、協働する心を育成するため、道徳教育や体験活動の充実を図ります。
- 基本的な生活習慣を身に付け、落ち着いた環境で自分の力を伸ばすことができるように、学校・家庭が「赤羽のよい子(生活・学習のやくそく)」で共に育てます。
- 基礎・基本の学習の確実な定着を図るため、タブレット端末等ICT機器を活用した個別最適な学びや習熟度に応じた指導を実施しています。
- 思考力・判断力・表現力の育成のため、多様な「考える」「書く」「話し合う」等の言語活動や主体的・対話的で深い学びとなる授業を行っています。
- 高学年教科担任制を取り入れ質の高い授業を行っています。
- 縦割り班活動や併設している赤羽幼稚園との交流等の異学年交流活動を取り入れています。
- 児童の学習意欲や知的好奇心を喚起するために、学区域にある大学・外国の大使館等の施設や地域の人材を生かした学習、司書を活用した学校図書館での学習・読書活動の充実等を推進しています。

こんな学校を目指しています

- 子供の笑顔が輝く学校
 - ・子供自身が、自分を大切に、自分の成長を信じ、様々なことに挑戦できる学校
 - ・相手を大切に、子供が互いのよさを認め合い、共に学ぶ学校
- 保護者・地域から信頼され、共に子供を育てる学校
 - ・子供の成長のために、保護者・地域と共に考え、行動する学校
 - ・適切な情報発信をし、保護者・地域に開かれた学校
- 教職員が指導力を磨き合い、自分のよさを発揮できる学校
 - ・子供に「学ぶ楽しさ」「協働する喜び」を味わわせるため教職員が切磋琢磨する学校
 - ・教職員がやりがいを感じ、専門性を発揮することができる学校

児童の声

- 新しい校舎はきれいで広くとても素敵です。
- 学校図書館が大好きです。本もたくさんあり豊に座って読めるのがうれしいです。
- 体育館が広くきれいなので皆で仲良く遊んでいます。
- 音楽室や理科室が2つありびっくりしました。一生懸命勉強したいです。

校長の願い

目指す児童像である「夢と生きがいを持ち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する子供」を実現するためには、国際社会の中で、社会や生活環境がいかに変化しても、人々と助け合い協力しながら、自分の生き方を持ち、たくましく生きていくことができるよう、児童が、日常の学習や生活の中で、自信を持ち、主体的、意欲的に学ぶことが必要です。

そこで、指導の重点を「あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働し、創造する児童の育成」として学校経営を進めていきます。

校内研究主題

研究主題「伝え合う力を育てる指導の工夫」

特別活動や道徳、各教科の授業を通して、児童の言語活動や教員の指導方法を工夫したり、ペアやグループ、全体での相互交流の場等を設定したりすることにより、言葉を通して正確に理解する力が高め、課題や目的に応じて考えをまとめる力を児童に身に付けていきます。また、自らの考えを確かめたり、友達の考えを聞いて受け入れたりすることで、児童相互のよりよい人間関係を形成することを目指していきます。

学校生活の様子



1年生を迎える会



遠足



SDGs授業



マーチングバンド



長縄大会



書き初め



パレ工体験教室



生活科 学校探検



しばうらしょうがっこう

芝浦小学校



芝浦小学校

校名の由来

芝の村の海岸を意味する「芝の浦」と呼ばれた土地が、時代とともに「芝浦」となり、芝浦地区唯一の小学校であることから名付けられました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 濱尾 敏恵

所在地 港区芝浦4-8-18

電話番号 3451-4992

HPアドレス <https://shibaura-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/shibauraes>

交通 JR 田町駅 徒歩14分
JR 高輪ゲートウェイ駅 徒歩17分
浅草線 泉岳寺駅 徒歩14分

職員数 48名

学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	4	5	5	4	4	5	27
児童数	131	156	174	139	150	173	923

- ### 教育目標
- 心もからだも強い子
 - すすんで勉強する子
 - 友だちと協力する子

- ### 学校の沿革
- 昭和17年 芝浦国民学校開校
 - 昭和22年 港区立芝浦小学校と改称
 - 昭和35年 桜と錨をデザインした校章バッジを制定
 - 昭和40年 芝浦小学校校歌制定
 - 平成14年 開校60周年記念式典挙行
 - 平成16・17年度 港区教育委員会研究奨励校
 - 平成18・19年度 文部科学省道徳教育推進校
 - 平成23年 新校舎移転 新校舎落成記念式典挙行
 - 平成24年 開校70周年記念式典挙行
 - 平成23・24年度 港区教育委員会研究奨励校
 - 平成27・28年度 東京都人権尊重教育推進校
 - 平成29年 開校75周年記念児童集会実施
 - 平成29・30年度 港区教育委員会研究パイロット校
 - 平成31年 増築校舎完成
 - 令和4年2月 開校80周年記念式典挙行

総合的な学習の時間

地域「芝浦」にかかわりのある学習として、次の活動を行っています。

- 3年生 芝浦運河に学び運河のある町のよさを学ぶ学習活動
- 4年生 地域調査し、芝浦のこれからを考える学習活動
- 5年生 芝浦の地で自分ができることについて考える学習活動
- 6年生 芝浦太鼓 日本の伝統文化に学ぶ学習活動

※5年生は、なぎなたの体験学習をします。

学校の特徴

- 27学級・児童数923名の大きな学校です。令和3年度、開校80周年を迎えました。
- 全校をユニットABに分けて学習を進めますが、運動会などの学校行事は全学年一斉に行っています。
- オープンスペースのある教室や可動式の床のある温水プールなどの恵まれた施設を活用し、充実した学習を進めています。
- 少人数指導の実施など、きめ細かな指導で、学力向上を目指しています。
- 異学年交流のハッピー一班活動などを通して、優しい心を育むとともに、自他のよさを伸ばし合う人間関係を形成します。
- 合唱団「歌花隊」は、校内での音楽会や休み時間のミニコンサートなどに出演し、歌声を響かせています。また、芝浦運河まつりなどの地域の催しや区の行事の他、様々なコンサートやコンクールに参加しています。わんぱく相撲などの地域の取組にも積極的に参加しています。
- 「港南アカデミー」の芝浦幼稚園・港南幼稚園・芝浦小学校・港南小学校・港南中学校とカリキュラムを連携しています。

こんな学校を目指しています

- 活気と温かみにあふれ、一人一人が活かされる「チーム芝浦小学校」を目指します。
- 自分を大切にするとともに、他者のよさを認め尊重し合う心情を育成します。
 - ・人権教育の推進・特別活動の充実
 - 主体的に学習に取り組む姿勢、学んだ知識及び技能を活用し、未知のことにも対応できる思考力、判断力、表現力を育成します。
 - ・「主体的・対話的な深い学び」に視点を置いた授業改善、学校図書館の積極的な活用(読書活動の充実、芝浦小読書の日)
 - 基本的な生活習慣の確立と健康な体づくりへの意識向上を目指します。
 - ・運動への関心や意欲の向上、基礎体力の向上、健康に関する資質・能力の育成
 - 一人一人が能力や特性を伸ばしながら、成長・発達していける支援体制を構築します。
 - ・特別支援教育の推進

児童の声

- ### 芝浦小学校のよいところ
- たくさんの友達と関わりながら、学校生活を送ることができます。
 - ハッピー一班で異学年と交流することで、学年を超えて友達をつくることができます。
 - 学年がAユニットとBユニットに分かれています。また、ユニット担任の先生で教科を交換した授業があり、いろいろな先生の楽しい授業を受けられます。
 - 校舎がきれいで、とても広いです。また、教室がオープンになっていて、いろいろな学習活動をするのに十分なスペースがあります。
 - 屋内温水プールで水泳の学習ができます。雨の日でも寒い日でも、楽しく泳げます。
 - 地域の方や学校の近くの企業の方などが、ゲストティーチャーとして授業をしてくださいます。

校内研究主題

研究テーマ「学んだことを生かし、新たな考えやものを生み出すことのできる児童の育成
～総合的な学習の時間・生活科の主体的・協働的な学習を通して～」

- 自らすすんで考えたり行動したりする力を育成します。
- もっている知識を生活に生かす力を育成します。

児童会活動の紹介

計画・図書・集会・ミニコンサート・掲示・新聞・放送・給食・栽培・美化・保健・体育
以上の12種類の委員会があります。
自分たちができることを考え、行動することを大切にしています

特色ある教育活動

- 施設
 - ・オープンスペースのある広い教室
 - ・学年が集まれるラーニングセンター
 - ・人工芝の運動場
 - ・屋内温水プール
- 異学年集団活動
 - ・兄弟学年による異学年交流(ハッピー一班活動)を大切にした学校生活
 - ・年間6回以上の活動(兄弟学級ごと)
- 体力づくり
 - ・長縄週間
 - ・体力テスト実施
 - ・ボルダリング
- 歌花隊
 - ・歌の花を咲かせよう!児童合唱団「歌花隊」
- 地域との連携
 - ・つながり広がる文化、交際交流
 - ・スポーツ体験(なぎなた)

年間行事

- 入学式(4月)
- 学校公開(6月、9月、1月)
- 運動会(5月)
- 道徳授業地区公開講座(9月)
- 文化的な発表(音楽会、学習発表会、展覧会等)(11月)
- 書き初め会(1月)
- 新1年生学校説明会(2月)
- 卒業式(3月)

クラブ活動の紹介

球技 卓球 バドミントン スポーツ
ダンス バスケ サッカー タブレット
囲碁・将棋・オセロ 理科 絵画
工作 鉄道 音楽 手芸 和の心
以上の16種類のクラブがあります。
活動内容を自分たちで企画・計画して行っています。



歌の花を咲かせよう本校児童合唱団「歌花隊」



オープンスペースのある広い教室



個性が輝く中休みミニコンサート



つながり広がる文化・交際交流、スポーツ体験(なぎなた)



しばはましょうがっこう

芝浜小学校

令和4年4月新規開校

芝浜小学校



校名の由来

学校の近隣は、かつて「芝浜」と呼ばれ、有名な古典落語の舞台にもなった地域であることから名付けられました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 宮崎 直人

所在地 港区芝浦1-16-31

電話番号 3769-3051

HPアドレス <https://shibahama-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/shibahamaes>

交通 JR田町駅 徒歩5分
浅草線・三田線 三田駅 徒歩6分

職員数 25名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	5	4	3	2	2	1	17
児童数	147	127	91	58	62	38	523

教育目標

- ・自他を価値ある存在として尊重する子【徳】
- ・自ら考え、行動し、判断する子【知】
- ・心身ともに健康で、運動に親しむ子【体】

学校の沿革

令和4年4月 芝浜小学校開校
令和4年12月 開校記念式典挙行

総合的な学習の時間

- ・企業やNPO等と連携し、運河や近隣の施設などを生かした学習活動を推進します。
- ・自ら課題意識をもって、探究的な学習に取り組むことを通して、地域への誇りと愛着を育み、自己の生き方を考えることにつなげていきます。

学校の特色

- ・地上9階建ての校舎で、校庭は9階、体育館は7階、プールは6階にあります。なお、6階にあるプールは温水プールです。

- ・7階には体育館の他にプレイルームがあり、鉄棒やボルダリングを使った運動ができます。
- ・運河や水辺空間に囲まれている立地、隣接している芝浦公園等を生かした環境学習を実施します。
- ・隣接する「みなとパーク芝浦」の各施設と連携した多様な学習を展開します。
- ・古典落語と関連する学校名や近隣にある伝統文化交流館と連携し、伝統と文化を重んじた教育を実施します。
- ・地域の団体や企業等と連携し、地域の教育資源を活用した教育活動を展開します。

こんな学校を目指しています

<令和5年度スローガン> やる気・元気・勇気・本気
一人ひとりが輝く芝浜っ子

<目指す学校>

～あたたかい学校～

「一人ひとりのよさを認め合い、互いに励まし合う学校」
教職員と子どもたちとの信頼関係や子ども同士のよりよい関係を基盤として、一人ひとりのよさを認め合い、自己肯定感を育てます。また、縦割り班活動などを通して、子ども同士の豊かな人間関係を築き、思いやりのある心を育てます。

～落ち着いた学校～

「あいさつ・返事・聞く態度・規範意識を備えた品格のある学校」

明るい挨拶と品格のある行動ができるようになります。自分が何をすればよいのか、また、自分に何ができるのかを考え、進んで約束やきまりを守って行動する態度を養います。

～学ぶ喜びのある学校～

「分かった・できたことが増える学校」

自ら主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育みます。

～信頼される学校～

「地域とともにあり、地域に開かれた学校」

地域の人との交流活動や地域の施設を活用した学習など、地域と関わりをもつことができるよう様々な体験活動を推進し、豊かな人間性を育みます。

地域と学校が連携・協働しながら子どもたちを育てていくために、様々な取り組みを進めます。地域・家庭・学校が一体となって未来を担う子どもたちの成長を支えていくことができるようにしたいと考えています。

児童の声

- 休み時間は、校庭や体育館、図書室、プール校庭（水泳の授業がない時期）、ボルダリングなど、様々な場所で遊ぶことができます。
- 開校2年目と新しい学校なので、自分たちで色々な提案や計画、実行をし、楽しい学校を築いていくことができます。
- あいさつ運動や食品ロスを減らす取り組みなど、自分たちで芝浜小学校をよりよくするための提案をして、伝統を創ることができます。
- 縦割り班活動や芝浜子ども祭りなど、全校児童が交流することができる活動や行事があり、全校児童がとても仲良く過ごしています。

校内研究主題

研究主題「地域とのつながりを通して、主体的に問いをもち、解決しようとする児童の育成」

- ・主体的に問いをもち、解決しようとする児童を育成するため授業改善について研究します。
- ・多様な教育課題に対する、地域教材を生かした学習方法について研究します。
- ・上記の取組を効果的に編成、実施、評価、改善を行うための、カリキュラムマネジメントについて研究します。

クラブ活動の紹介

スポーツA、スポーツB、最先端技術、アート、手芸、サイエンスA、サイエンスB、音楽合奏、ダンス

特色ある教育活動

- ・特別活動の充実
異学年での交流活動（縦割り班活動）を実施し、様々な学年の友達と関わることで人と関わる喜びを感じさせます。また、5、6年生には高学年としての自覚をもたせるとともに、リーダーシップを発揮させます。
- ・体験活動の充実
地域の団体や企業等と連携し、協力の下、本物にふれる体験を重ね、生きる力を育みます。

児童会活動の紹介

代表委員会 放送委員会 集会委員会 図書委員会
体力向上委員会 広報委員会 保健委員会 給食委員会
環境・美化委員会

PTA活動

芝浜Kidsサポーターズ（愛称：はまさぼ）
子どもたちの笑顔のため、本当に必要とされる組織を～出来る人が、出来る時間に、出来る力を少しずつ～
活動実績：通学路見守り 通学路110番シール設置
運動会お手伝い
地域の祭りのお手伝い など

年間行事

遠足「都立芝公園（1年）」「上野動物園（2年）」「はまぎんこども宇宙科学館（3年）」「高尾山（4年）」、
引き渡し訓練、学校公開（年2回）、道徳授業地区公開講座、社会科見学（3年、4年、5年、6年）、
生活科見学（1年、2年）、夏季学園（5年）、移動教室（6年）、音楽鑑賞教室（5年）、運動会、学芸会、作品展、書き初め会

学校生活の様子



始業式



運動会



屋上校庭



屋内プール



避難訓練



運河クルーズ



みたしょうがっこう

御田小学校

御田小学校



校名の由来

昔、神社の土地を御田（おんでん）と呼んでいました。御田八幡の領地に建つ学校ということで、御田（みた）小学校と名付けられました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 齋藤 恵

所在地 港区三田4-11-38
令和6~8年度、港区白金3-18-2※

電話番号 3451-3997

HPアドレス <https://mita-es.minato-tyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/mitaeschool>

交通 三田線・南北線 白金高輪駅 徒歩5分
浅草線 泉岳寺駅 徒歩7分

職員数 28名



※令和6年度から旧三光小学校校舎に移転予定

学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	2	2	3	3	2	2	14
児童数	71	62	83	86	61	70	433

教育目標

- よく考え くふうする子ども
- すすんでいけ やり通す子ども
- 仲よく はげましあう子ども
- じょうぶで 心ゆたかな子ども

学校の沿革

平成12年 4月 御田小学校（明治6年創立）と南海小学校（明治7年創立）を統合し、御田小学校開校

平成18・19年度 港区教育委員会研究パイロット校

平成22年11月 開校10周年記念式典挙行

平成24・25年度 港区教育委員会研究パイロット校

令和元・2年度 港区教育委員会研究パイロット校

令和2年10月 開校20周年記念式典挙行

総合的な学習の時間

- 3年生：「発見！三田の町」「インターネットを使って調べよう」「暮らしのうつりかわり」
- 4年生：「地域安全マップをつくろう」「千畑小学校と交流しよう」「10年間を振り返ろう」
- 5年生：「環境問題について考えよう」「人権について考えよう」「共に生きよう」
- 6年生：「箱根のことを調べよう（箱根移動教室）」「自分の生き方を考えよう」

学校の特徴

- 校訓 「母校ヲ愛スル者八国ヲ愛ス」
本校の卒業生で慶應義塾大学第7代塾長でもある小泉信三氏の言葉を校訓にしています。歴史と伝統ある母校を誇りに思い、地域を愛する児童を育てます。令和2年度は、開校20周年を迎え、令和2年10月には、地域の方々とともに盛大にお祝いしました。
- 歴史深く・緑にあふれる地域
学校のある三田4丁目周辺は、江戸時代に幕府が寺を集めて計画的に作った寺院の街です。現在も、本校の周りには、たくさんの寺院があります。海辺の高台にあり、月見の名所としても知られ、画家 歌川広重は、「名所江戸百景」の一つとして、「月の岬」という作品を残しています。また、学校近隣にある「三田台公園」や「亀塚公園」からは、縄文時代の遺跡や古代の古墳も発掘されています。年間を通し、これらの地域の特色を生かした教育活動を行っています。
- 授業のユニバーサルデザイン化等
校内研究で学んだ内容を継続し、児童が「分かる・できる」ように、工夫・配慮された指導方法を基盤とした授業づくり、学級づくり、教室環境づくりをしています。一部教科担任制や算数少人数コース別指導を取り入れ、質の高いきめ細やかな指導を行っています。



こんな学校を目指しています

- 御田小学校は「**みんな元気 たのしい御田小**」
～「**自分も大切 みんなも大切**」
子どもが主役の**たのしい学校**～
- 児童一人一人が、安全・安心な環境の中で、自他を認め合いながら、自己実現できる学校を目指します。
- 「みんな」とは、御田小学校に関わる全員を指し、「児童」「保護者」「地域」「教職員」です。
- 学ぶ意欲を高め、確かな学力が身に付く学校
 - 保護者・地域と連携し、通わせたいと思える学校
 - 子供と教職員が活力に満ち、満足できる学校
- 御田小学校に関わる人たちがみんなが、自己実現できる学校であるとともに、他者の喜びや悲しみを自分事として、共感できる人たちのコミュニティが御田小学校です。

児童の声

- 南海小学校と統合して、長い歴史と伝統のある学校です。毎年6年生が伝統的に御田太鼓に取り組んでいます。
- 坂を上った小高い丘の上にあり、カエル、ヤモリ、ヘビなど野生動物が多く見られ、校庭には桜、杏の木がありきれいな花を咲かせます。ヒマラヤスギは学校のシンボルで、いつも私たちを見守ってくれています。
- 給食がおいしくて、毎日楽しみにしています。特に人気があるのは、ジャージャー麺、揚げパン、クルトンサラダです。
- 各学年2～3学級で、いろいろな人と密に関わられます。

校章

人と人がみんなトンネルを作り、その中をほかの人が通り抜けるとき、それは祝福を意味します。二人の子どもが手をつなぎ、二つの心を結ぶリボン（時の流れ）が、風にそよいで、南海小学校のNを描き、御田小学校の頭文字のMになっていきます。リボンはNとMも境なく未来につながっていきます。時の流れの中で成長する子どもたちに愛され、未来に通じる校章です。



学校生活の様子

本校は、令和2年開校20周年を迎えました。校舎改築工事のため、令和6～8年度は、旧三光小学校校舎（白金3-18-2）で授業を行います。令和9年度から新校舎での学校生活が始まります。

校庭は人工芝でのびのびと遊べます。シンボルツリーになっているヒマラヤスギと大きなイチョウの木があり、緑豊かな学校です。



ヒマラヤスギと人工芝



マスコット「ヒマラヤくん」

特色ある教育活動

- ◆人権尊重教育◆
「挨拶・感謝・言葉遣い」に重点を置き、自他の人権を理解し、尊重をする態度を育てています。また、異学年交流活動を行い、積極的に人と関わる態度と自己有用感の育成を図っています。
- ◆地域力を生かす教育◆「地域学校協働本部推進校」
保護者や地域とともに協力して子どもを育てる学校を目指します。また、近隣の学校と連携した英語活動や国際理解教育も行っています。



あいさつ運動



人権カレンダー



「社会を明るくする運動」

- ◆秋田・千畑小交流◆
PTAを中心に47年間続いている「秋田・千畑小交流」。コロナ禍でこの3年間は間接的な交流を行いました。令和5年度から、御田小の児童が秋田県の千畑小学校へ、千畑小学校の児童が御田小学校へお互いに交流を再開します。



地域の方がゲストティーチャーの授業



地域の方・保護者の方による学習の支援



近隣学校と連携した国際理解教育

校内研究主題

- “自分も大切 みんなも大切”
他者のよさや考えを認め、主体的に自分の考えを伝える児童の育成
- 令和4年度までの研究を土台に、一人一人のよさを引き出す工夫、学びの実感をもたせる工夫をしながら、関わり合いの場を設定し、授業づくりの改善を図ります。



全教員による校内研究会

PTA活動

毎年「ふれあいまつり」などの楽しい行事があり、保護者の交流も活発です。

PTAの有志の会、「リーディング・ツリー」。朝の時間を活用して定期的に読み聞かせに来てくださいます。





たかなわだいしょうがっこう

高輪台小学校

高輪台小学校



校名の由来

明治41年開校の臺町小学校と大正2年開校の高輪小学校が合併し、昭和10年に高輪台小学校となりました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 細川 力

所在地 港区高輪2-8-24

電話番号 5447-0616

HPアドレス <https://takanawadai-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/takanawadaies>

交通 浅草線 泉岳寺駅 徒歩10分
JR 高輪ゲートウェイ駅 徒歩10分

特別支援学級 知的障害(あじさい学級) 固定学級

職員数 41名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学級	5	4	4	3	4	3	1	24
児童数	155	119	127	104	138	101	3	747

教育目標

心もからだも健康な子

- すすんで学び がんばる子
- 責任を果たし 助け合う子
- 美しいものを 大切にす子

学校の沿革

昭和10年 2月 東京市高輪臺尋常小学校として開校

平成17年 2月 開校70周年記念式典挙行

平成17年 4月 大改修工事終了
高輪校舎にて教育活動再開

平成17年 5月 校舎竣工式典挙行

平成21・22年度 港区教育委員会研究パイロット校

平成22年11月 第2校庭完成

平成26年 開校80周年記念式典挙行

平成26年度～ 東京オリンピック・パラリンピック教育推進校

平成26・27年度 港区教育委員会研究奨励校

平成28年 4月 特別支援教室 高輪台ルーム開設

令和元年度 開校85周年記念関連行事(運動会、学芸会、記念集会等)実施

令和2年 7月 プール棟竣工
放課GO→クラブたかなわだい開設

令和3年 4月 学校運営協議会を設置
特別支援学級(あじさい学級)を高松中に設置

総合的な学習の時間

目標:身近な事象から課題を見つけ、体験や探求活動を通して自ら学び、自ら考える力を育てる。課題解決を通して、学び方や考え方を身につけ、主体的・創造的態を育てる。(学習単元:地域の伝統・文化・行事、国際理解、健康・福祉、情報、環境)

○地域の伝統・文化・行事を調べることを通して、自ら学ぶ力とよりよく問題を解決する資質や能力を育てる。また、発表を通して次の世代に伝える学習。

○六年間を貫く柱「高輪の町」地域を見つめて、地域で学び、地域に還元する。

- ・3年生「町づくり」「安全」○高輪のステキを見つけよう、地域安全マップ
- ・4年生「SDGs」○未来がよりよくなるために～SDGsの視点から地域を見つめよう～
- ・5年生「福祉」「キャリア」○みんなにやさしい町へ
- ・6年生「伝統・歴史」「キャリア」○知ろう!伝えよう!守ろう!高輪の町

学校の特徴

- 地域との連携や本校の伝統を踏まえて
 - ・コミュニティスクールとして、地域の人材活用、保護者や関係機関との一層の連携を図り、特色ある教育活動を推進します。
 - ・高松アカデミーの取り組みの中で、保・幼・小・中12年間の教育活動を計画に行い、「豊かに学び、豊かに生きる子ども」を育てます。
 - ・地域との連携活動・行事を各学年で実施し、地域の高校との交流活動も行っています。
- 教育のスペシャリストとして
 - ・自ら学ぶ姿勢を持ち続け、児童や保護者、地域の方々から信頼される教職員に慣れるように努めています。
- 教育の中心、心のふるさととして
 - ・協力し合える学校として「家庭や地域と相互に協力関係を結びあえる学校」、教育力を外に求める学校として「常に新しい知識や技能に触れることのできる学校」、地域に貢献できる学校として「地域の願いに応え、地域の理解と協力を得ることのできる学校」づくりを推進します。
 - ・保護者との連携、学校運営協議会を軸とした地域と連携した運営改善、伝統ある高輪台小学校同窓会の支援による教育活動の一層の充実を図ります。
- 特別支援学級「あじさい学級」では、一人一人の障害特性に応じた指導の充実を図ります。

こんな学校を目指しています

「楽しく元気な学校」

子どもは、新しいことを知りたい、できるようになりたい、そして、自分を高めたいという意欲を常に持ち続けています。また、自分の良さや可能性を常に発揮したいと願っていて、それを最大限に伸ばしてほしいと願っています。子どもたちが楽しく学校に通ってほしいと願っています。

保護者や地域の皆様と連携しながら、児童の可能性を最大限に伸ばし育てる教育を通して、子ども一人一人に主体的に考え判断し表現することのできる力を育てていけるような学校を目指しています。その実現こそが、子どもたちや保護者、地域の皆様にとって「楽しく元気な学校」になるものと信じています。

さらに、「楽しく元気な学校」を実現するために、次のことを意識して教育活動を進めていきます。

- 豊かな人間性の育成(道徳教育や体験活動を充実させ、豊かな心を育む)
- 豊かな知力の育成(言語活動を充実させ、確かな学力を育む)
- 健やかな身体の育成(心身の調和的な発達を大切に、健やかな心身を育む)

児童の声

- みんなが元気なあいさつを心がける明るい雰囲気のある学校です。
- 協力し合い、困ったときに助け合うことができる優しい友達が多い学校です。
- 休み時間は、みんなで元気に遊び、授業は分かりやすいです。

保護者・地域の声

- 行事等張り切って参加している子どもたちの姿が素敵な学校です。
- 毎日の給食は工夫された献立で、楽しみにしています。
- いつも子どもたちにあたたかく接してくれる先生や、熱心な指導をしてくれる先生がいる学校です。
- 気持ちの良い挨拶をしてくれるお子さんがいて嬉しくなります。

校内研究主題

「主体的に考え、学び合う児童の育成」

学校生活の様子



ボルダリング



運動会



全校朝会



PTA岩井水泳



防災教室



泉岳寺ガイド

特色ある教育活動

【高輪台小学校地域コーディネーター】

本校では、高輪台小学校地域コーディネーターの方々から、学校の教育活動の充実に向けて、様々な支援をしてくださっています。

- ・図書ボランティア「くるりくら」 ・花植え隊活動
- ・飾りつけボランティア ・校外学習の支援(付添等)

イベントや企画に参加した子どもたちからは、「楽しかった」という感想が多く寄せられています。ボランティアに参加した保護者の方々からも、「参加してよかった」「楽しかった」などの好意的な意見が多く寄せられています。また、入学式を始め行事や季節に合わせた飾りつけは、子どもたちも保護者の方も、見る人の気持ちを豊かにさせてくれています。

【防災教育】

高輪地区総合支所、高輪消防署、高輪警察署、高輪地区防災ネットワーク、高輪消防団・地域の防災用食品会社と連携して、防災訓練を行います。

- ・消火器訓練 ・水と食料の確保
- ・段ボールハウス、マンホールトイレの設置
- ・止血法、添え木の仕方
- ・避難所開設の手伝い 等

【漢字検定】

全校で漢字検定を行います。検定を通して、漢字を覚えることへの意欲をもたせたり、意味を理解することの大切さを感じ取らせたりしていきます。

【高輪台フェスティバル・学芸会】

隔年で行います。各学年で演目を決め、取り組みます。言葉の美しさを味わわせたり、音や演出、美術などとの関わりを感じ取らせたりしながら、総合的な表現力を高めて発表します。高輪台フェスティバルでは、自主的・協力的態度を養ったり、他者への思いやりを育んだり、共に活動する楽しさを味わわせたりしながら、学校生活をより楽しく豊かなものにしていきます。



しろかねしょうがっこう

白金小学校

白金小学校



校名の由来

明治9年の開校当時、今の白金小学校の辺りは東京府荏原郡白金村、今里村と呼ばれていたため、白金小学校と名付けられました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 高山 直也

所在地 港区白金台1-4-26

電話番号 3441-5407

HPアドレス <https://shirokane-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/shirokanees>

交通 三田線・南北線 白金台駅 徒歩5分

職員数 39名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	4	4	5	4	3	3	23
児童数	131	116	145	125	116	113	746

教育目標

個性的で創造的な行動と協調的で愛情のある行動ができ、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる人間を育てる。このために、次の合い言葉を定める。

自分を見つめ まわりもみつめ
 ひとを生きし 自分も生きし
 めあてをもって 努力を続ける

学校の沿革

明治 9年 1月 第一大区第二中学区第二十二番公立小学白金学校開校

昭和 22年 4月 校名を港区立白金小学校と改称

平成 27年 12月 開校140周年記念式典挙行

平成 27・28年度 港区教育委員会研究パイロット校

平成 28・29・30年度 令和元年度 [NHK 学校音楽コンクール] 4年連続 全国大会2位

平成 30年度 令和元年度 東京都教育委員会「プログラミング教育推進校」

令和 2年度 東京都教育委員会「子供の体力向上推進優秀校」

令和 2・3年度 全国小学校英語教育実践研究会東京大会発表校

総合的な学習の時間

「白金タイム」という名称で、各教科を発展させた内容、今日的な課題であるSDGs、オリンピックパラリンピック、福祉などを学習します。その中で「調べる」「体験する」「まとめる」「発表する」という活動に取り組み、「生きる力」の充実を目指しています。

学校の特徴

- 白金小の全ての子が守る、「白金スタンダード」(学校の約束)を軸にけじめある学習と生活の徹底を図っています。
- 本校の長い歴史を語る「心のふるさと室」は、地域の保存会の方々で運営してくれています。地域や学校に関する貴重な資料が保存しており、学校や地域の歴史について学びます。
- 学校特設クラブ「合唱団」、PTA 公認クラブ「ミニバスチーム」「陸上クラブ」などの課外活動があり、児童の情操教育や体力の増進を図るとともに、個性の伸長を目指しています。
- スクールカウンセラーや養護教諭が積極的に学級に入って子どもを見守るとともに相談体制の充実を図っています。

こんな学校を目指しています

- 「日本一の学校～白金プライドをもって～」
本校は開校148年目になる伝統と歴史のある学校です。地域や保護者の方は、白金小学校は昔からの名門であり、伝統を大切にするとともに常に先進的な教育活動を行っているという誇りをもっています。そして、未来を切り拓き、これからの社会をひいては国際社会を支える人材を育てる学校であるという強い思いがあります。その期待に応えるのはもちろんのこと、より充実した学校となるように、教職員が白金小の誇り(白金プライド)をもって、地域・保護者と連携し、日本一の学校にしていきたいです。
- 「愛であふれる学校」
人とかかわりが希薄になっている現代において、集団生活の中で良好な人間関係を構築し、人への思いやりや人権感覚をもつことがとても重要です。そして、互いに好きになって尊重し合える人になり、愛であふれる学校にしたいと思えます。
- 「保護者、地域から信頼される学校」
保護者や地域の皆様に協力していただき、連携した教育活動を展開します。そのために、学校での学習や行事の様子などを学校ホームページやツイッターなどで保護者や地域の皆様に積極的に発信します。

児童の声

- 白金小学校には、「自分を見つめ まわりもみつめ ひとを生きし 自分も生きし めあてをもって 努力を続ける」という合い言葉があります。生活のいろいろな場面で、白金小児童全員の合い言葉として大切にしています。
- 休み時間にはピロティのボルダリングで遊ぶこともできて、とても楽しいです。
- 合唱団や陸上クラブ、ミニバスケットボールクラブなど課外活動も盛んです。

クラブ活動の紹介

令和5年度は次の12クラブで活動しています。屋外スポーツ、球技、バドミントン、卓球、科学実験、家庭科、日本文化、ボードゲーム、まんが・イラスト、プログラミング、ダンス、園工

児童会活動の紹介

令和5年度は次の9委員会で行っています。代表、放送、新聞、運動、図書、飼育・栽培、環境、集会、保健・給食

保護者・地域の声

- 地域の方々からも長年「しろしょう」と呼ばれ、愛されています。
- 近隣の幼稚園、中学校、大学、児童館等と連携して、子どもたちの健全育成に努めており、多くの信頼をいただいています。

校内研究主題

「目的意識をもち、相手意識を働かせながら表現できる児童の育成」

学校生活の様子



幸風の鐘「さちのかね」



夏季学園



移動教室



白金台幼稚園との交流



ボルダリング



避難訓練



心のふるさと室



合唱団



学校マスコット「さっちくん」



こうなんしょうがっこう

港南小学校

港南小学校



校名の由来

港区の南に位置していることから「港南」とされました。校章には、桜の花の中に五輪をあしらひ、その中央に「港南小」という文字を入れています。桜の花は日本の国花、五輪は本校が東京オリンピックと同じ年に開校したために考えられました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 吉川 浩一

所在地 港区港南4-3-28

電話番号 3474-1501

HPアドレス <https://konan-es.minato-tyky.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/konaneschool>

交通 JR 品川駅 徒歩10分

特別支援学級 知的障害(わかば学級) 固定学級

職員数 64名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学級	6	7	6	6	6	6	5	42
児童数	205	229	211	205	215	221	36	1,322

教育目標

- よく考えて 学習する子
- すなおで 心豊かな子
- 進んではたらき 協力する子
- 健康で がんばりぬく子

学校の沿革

昭和38年 4月 港区立芝浦小学校分校として開校

昭和39年 4月 港区立港南小学校開校
校章・校旗を制定

昭和40年 2月 校歌制定(作詞 勝承夫 作曲 小出浩平)

昭和54年 5月 掲揚ポール設置(東京オリンピック使用)

昭和58年 4月 肢体不自由学級(たけのこ学級)開級

昭和62・63年度 港区教育委員会研究奨励校
その後、数回の研究発表を実施

平成20年 4月 知的障害学級(わかば学級)開級

平成22年 5月 新校舎落成記念式典挙行

平成23年 11月 グラウンド落成記念式典挙行

平成23・24年度 港区教育委員会研究奨励校

平成25年 11月 第52回全国学校体育研究大会東京大会分科会会場校

平成26・27年度 港区教育委員会研究奨励校

平成26年 11月 開校50周年記念式典挙行

平成28・29年度 港区教育委員会研究奨励校

平成30・令和元年度 港区教育委員会研究奨励校

令和元年 5月 開校55周年記念式典

令和3・4年度 港区教育委員会研究奨励校

総合的な学習の時間

自ら課題を見出し、自ら調べ、自ら考え、問題を解決する資質や能力を育てるとともに、自分の生き方を考える力、進んで地域に関わろうとする意欲や態度を形成することを目標としています。家庭や地域の協力を得ながら、地域・環境・福祉・食育などの教育課題や地域の特色を教材化し、子どもたちが自ら追究できる学習活動を工夫しています。

学校の特徴

- 高学年では、学年として子どもたちを把握し、質の高い授業を行うために、交換授業を行っています。
- 高学年を中心に教科担任制を行っています。
- 心豊かな子や協力する子を育てる教育を推進しています。特に校内研究では各教科・各領域において「一緒に学ぶ楽しさを味わう児童の育成」を目指しています。
- 夏季休業中には「夏休み港南クラブ」と称し、保護者、地域の方々により講座を開講しています。普段ではできない様々な体験活動を行っています。
- 月に1回、「げんきアップタイム」を行っています。様々な運動や遊びを通して体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに児童の体力の向上を目指しています。
- 広くてきれいな人工芝のグラウンドで子どもたちは元気にのびのびと体を動かしています。
- 温水プールがあります。また、屋上には学級菜園もあります。
- 毎月兄弟学年で楽しく交流する「フレンドリータイム」を行っています。

こんな学校を目指しています

- 子どもたちが楽しいと感じることができる学校
 - ・学んでよかったと思える学校
 - ・きまりのある学校
- 保護者や地域にとって信頼できる学校
 - ・開かれた学校
 - ・安全・安心な学校
- 教職員にとって働きがいのある学校
 - ・活力のある学校
 - ・子どもと共に成長を感じる学校

児童の声

- みんな大きな声で元気よくあいさつをし、笑顔があふれる楽しい学校です。
- 毎年クラス替えをするので、友達がたくさんできます。
- ふれあいコンサート、フレンドリータイムやげんきアップタイムなど、他の学年の友達と仲良くなれる機会がたくさんあります。
- プールは室内なので雨の日でも入れます。そして、スイッチ一つで床の高さが上下するところがすごいです。
- グラウンドを囲むたくさんの桜の木や屋上菜園など、緑がたくさんあってとてもきれいです。

スポーツへの取組

- げんきアップタイム
グラウンドや体育館、こうなんホールに17か所の運動の場を設定し、月に1回程度、体を動かす楽しさを味わっています。
- 体力向上への取組
モジュールで確保した時間を活用して、体育館やグラウンドで長縄や短縄を行い体力の向上を図ります。



年間行事

- 1学期**
- 4月 入学式
 - 5月 学校公開・移動教室(6年)
 - (夏休み) 夏季学園(5年生)
 - 夏休み港南クラブ
 - 夏季水泳指導
 - 夏季補習
- 2学期**
- 9月 水泳記録会(6年生)
 - 10月 合同運動会(わかば)、連合運動会(6年生)、スポーツフェスタ
 - 11月 地域総合防災訓練、学校公開、学校説明会
 - 12月 Winter Festa
- 3学期**
- 1月 学校公開 道徳授業地区公開講座
 - 3月 卒業式



校長の願い

「子どもたちが楽しいと感じることができる学校」を学校経営の柱とし、全教職員が力を合わせて、保護者や地域の方々の信頼に応える教育を推進します。そして、

- ・子どもたちの豊かな心を育むこと
- ・子どもたちに確かな学力を定着させること
- ・子どもたちの健全な成長を保障すること

を目指します。

情操教育の推進

図工作品の常設展示を行うとともに、1年生から音楽専科、2年生から図工専科の授業を行うことで子どもたちに豊かな心を育てています。5、6年生による鼓笛隊が、桜祭りや水辺フェスタ、交通安全パレードなどの地域行事に参加し、素晴らしい演奏を行っています。休み時間には、子どもたちによる自主演奏会「ふれあいコンサート」を行っています。子どもたちが主体的に、歌や演奏を披露します。毎回たくさんの子供たちや保護者が「体育館」に集まり、友達の歌や演奏を楽しんで聞いています。



学習—基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、思考力、判断力、表現力を伸ばすために

- 2～6年生の算数科では、少人数指導を行い、6学級8展開、7学級9展開を基本として、一人一人の学習状況を確実に把握しながら適切な指導を行っています。
- 主体的・対話的で深い学びの手法を取り入れながら問題解決型の学習の展開を行い、自ら考え、自ら表現し、対話を通して考えを深めていける学習活動を重視しています。
- 漢字検定に挑戦し、成果を上げています。



校内研究主題

令和5年度 校内研究
「一緒に学ぶ楽しさを味わう児童に育成」～国語科における「伝え合い」を通して～



あざぶしょうがっこう

麻布小学校

麻布小学校



校名の由来

古来より当地を「麻布」と呼んでいました。明治期には麻布区となったその地名にちなんで名付けられました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 宮島 淳一

所在地 港区麻布台1-5-15

電話番号 3583-0014

HPアドレス <https://azabu-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/azabues>

交通 南北線 六本木一丁目駅 徒歩5分

職員数 28名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本語	合計
学級	2	2	3	2	2	2	2	15
児童数	65	63	73	48	53	63	—	365

教育目標

○元気な子 ○やさしい子 ○考える子

学校の沿革

明治 8年 麻布区市兵衛町2丁目63番地に創立

昭和 8年 現地に校舎落成(南葵文庫跡)

昭和 9年 麻布、麻中両校合併

昭和21年 三河台国民学校を合併

昭和22年 東京都港区立麻布小学校と改称

昭和25年 現校歌制定

昭和60年 現校舎落成

平成27・28年度 港区教育委員会研究奨励校

平成30年4月 日本語学級設置

令和 2年 開校145周年記念式典挙行

令和元・2・3年度 港区教育委員会研究奨励校

総合的な学習の時間

課題と出会いと体験を重視した「環境」「地域」「心の成長」「伝統文化」の4つのテーマを中心に構成された単元で学習を進め、生きる力を育てています。

3年：東京タワーたんけん、地域美化(大好きなまち六本木)

4年：茶道・和太鼓教室、名人に挑戦

5年：わたしたちができること、三味線教室

6年：箱根移動教室を成功させよう、展覧会・音楽会を成功させよう、お琴教室

学校の特徴

- 校訓「自由 規律 品格」を育む教育活動
基礎的な学力を授業で確実に身に付けさせることに加え、ICT機器の活用や、読書タイム・出張スピーチタイムなどの言語力を育てる活動にも力を入れています。また、地域の方々との地域清掃「ちょこっとボランティア」活動や4年生の地下歩道橋の絵画の展示など、地域と協働する力も養っています。それらの活動を通して、「自由な発想」・「規律ある生活」・「品格ある言動」を育みます。
- 豊かな心の育成
あいさつやルール等の指導、麻布幼稚園との交流学习・六本木アカデミー幼・小中一貫教育を通して、豊かな心を育むことを目指します。
- コミュニティ・スクールとしての学校づくり
麻布幼稚園と連携してコミュニティ・スクールを推進しています。学校運営に地域の方々に参画していただいたり、「地域の先生」として教育活動に参加してもらったりしています。
- 光あふれる緑豊かな学校
都心にあって、広い校庭と光あふれる緑豊かな学校です。港区初の人工芝の校庭で、子どもたちが伸び伸び遊び、生き生きと活動できる教育を推進しています。

こんな学校を目指しています

開校148年の歴史と伝統をふまえ、校風を継承発展させて、保護者、地域に開かれた、柔軟で活力ある質の高い教育を進めます。

そして、6つのK(元気・根気・勇気・和気・やる気・本気)をもって生き生きと学び、活力ある学校を目指します。

- 安全で安心して過ごすことができる学校
- 保護者や地域に信頼される学校
- チーム(組織)で課題解決していく学校が実現できる麻布小学校にします。

そのために、全教職員が一体となった教育及び運営に努めるとともに、保護者や地域の人々との連携を深めます。

児童の声

麻布小学校のよいところ

- 笑顔、あいさつ、生き物を大切にしているところ。
- 団結力があるところ。
- 明るく、元気なところ。
- 縦割り班の活動があって、全学年で楽しめるところ。
- いろいろな国の友達がいる、仲良しなところ。
- 歴史があるところ。
- せせらぎ(ピオトープ)など、自然がたくさんあるところ。

クラブ活動の紹介

手芸、屋外運動、屋内運動、造形、科学、音楽、ボードゲーム、イラスト

校訓

自由 規律 品格

PTA活動

日々、本校の子どもたちを見守ってくださっています。

- もちつき会 ○防犯パトロール
- 通学路点検 ○広報誌「あさのみ」
- 給食試食会 ○各種PTA連合行事等

委員会活動の紹介

代表、運動、集会、図書、放送、保健給食、環境

学校生活の様子

よりよいあいさつ 読書活動の充実

特色ある教育活動



異学年での「縦割り班遊び」



伝統を引き継ぐ「高学年鼓笛隊」



食育教育「そらめさやむき体験」



地域清掃活動「ちょこボラ」



防災協議会と共催の「防災講習会」



都会で体験「田植え」



心を一つに「学芸会」



幼・小中一貫教育「幼稚園との交流」



地域を花いっぱい「kids flower 六本木」



かけ声合わせて「もちつき会」



伝統文化にふれる「茶道教室」



日本語や日本文化を習得するための「日本語学級」

年間行事

1学期

- 4月 入学式 個人面談(1年生)
- 5月 運動会
- 6月 学校公開 道徳授業地区公開講座
- 7月 個人面談
- (夏休み) 夏季学園(5年生)

2学期

- 9月 移動教室(6年生)
- 10月 学校公開
- 11月 開校記念日 六本木フラワーポット(3年生)
- 12月 音楽会 展覧会 音楽鑑賞教室(5年生) 個人面談 PTAもちつき会

3学期

- 1月 書き初め展
- 2月 学校公開 6年生を送る会
- 3月 卒業式

日本語学級

平成30年度から開設しています。日本語学級は、日本語や日本文化を習得するために通級して学習する学級です。2名の教員が個別指導、グループ指導にあたっています。様々な国の児童が在籍し、意欲をもって学習に取り組んでいます。

生活時程

- 月～金曜日
- 8:00～ 8:15 登校
- 8:25～ 8:40 全校朝会 読書タイム ふれあいタイム 出張スピーチ
- 8:40～15:15 授業 中休み ぐんぐんタイム 給食 昼休み 清掃
- 15:15～ 下校

校内研究主題

主体的に考え、豊かに表現する児童の育成
—ICT機器を活用した授業デザインを通して—



なんざんしょうがっこう

南山小学校

南山小学校



校名の由来

- 南山（長寿・強さ・壮大の象徴の中国の山）
- 皇居の南丘に建つ学校
- 内田山（校舎の建つ丘）の南側
- 老僧「南山様」を敬う気持ち

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 小林 功明

所在地 港区元麻布3-8-15

電話番号 3403-5773

HPアドレス <https://nanzan-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/nanzanes>

交通 大江戸線・南北線 麻布十番駅 徒歩7分
日比谷線 六本木駅 徒歩7分

職員数 23名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	2	2	2	2	2	1	11
児童数	49	49	57	62	43	39	299

- ### 教育目標
- じょうぶで明るい子
 - よく考え最後までやりぬく子
 - 友だちとなかよく協力する子

- ### 学校の沿革
- 明治 9年12月 第二大学区第二中学区第二十七番公立小学南山学校開校
 - 昭和22年 4月 港区立南山小学校と改称
 - 平成28年11月 開校140周年記念式典挙行
 - 平成28・29年度 港区教育委員会研究パイロット校指定
 - 平成29年 4月 English Support Course (国際学級) 設置
 - 令和 3年11月 開校145周年記念児童集会開催
 - 令和 4・5年度 港区教育委員会研究奨励校指定

- ### 総合的な学習の時間
- 各学年共通
- 私たちの暮らす地域を知り学ぶ
様々な人が暮らす私たちの町、住みよいまちづくり、世界の人々とのつながり
 - 日本の文化・伝統を学び体験する
隈取り、江戸小紋、風呂敷、茶道、箏、能、正月遊び、百人一首など
 - 情報モラルを身につける
インターネットの活用とモラル、検索、著作権、写真撮影、南山SNSルールなど
 - SDGsについて考え、取り組む『増やそう、減らそう』
持続可能な社会に向け、守り育むもの、省き減らすものについて考える

- 3年生
 - わたしたちの住む町を知ろう
地域巡り、地域のためにできること、地域マップ・安全マップ作りなど
- 4年生
 - みんなが生きる町について考えよう
住みよい町とは、疑似体験学習(車いす・白杖体験)、世界の人々との交流など
- 5年生
 - 環境問題について考えよう『THE みなエコ大作戦』
身の回りの環境問題、エコ活動の取組、田植え・稲刈り体験など
- 6年生
 - 将来について考えよう『夢育プロジェクト』
職業調べ、職場体験、移動教室、学びのプレゼン・報告会の実施

学校の特徴

- 創立146年の歴史と伝統を受け継ぎながら、地域麻布十番商店街と六本木新都心開発とともに育ち、緑豊かな自然の中に校庭が広がっています。静かで落ち着いた環境と地域の協力の中で、子どもたちは伸び伸びと育っています。
- 外国人児童と日本人児童との、日常の様々な交流の機会を通じて豊かな国際感覚を養っています。すべての児童にとって、多様な文化や価値観に触れながら、寛容・協力・共生の精神が育ち、未来に生きる課題解決能力が向上しています。
- 南山スタイル「学びのスタンダード」に全校で取り組み、思考力・判断力・表現力を追究し、主体的に学びに向かう態度を育てています。
*学びのスタンダード：「授業の始めと終わりに挨拶をします」「よい姿勢で座ります」「声の大きさ」に合わせた大きさを話します」「最後まで静かに話を聞きます」「字をていねいに書きます」「名前を呼ばれたら「はい」と返事をします」「必要な学習用具は前日までに用意します」「宿題や家庭学習に取り組めます」「どの学級も学習規律を守ります」

- ### こんな学校を目指しています
- ～ どの子も伸びる 学びの南山小 ～
- ～ いかそうみがこうきたえよう 心と体と知識・技能 ～
- 子ども中心に考え、組織の力で課題解決を図る学校
 - 子どもたちの笑顔があふれる学校
 - 保護者・地域が誇れる学校
 - 教職員が伸びる学校
 - 【目指す学校像】
安全・安心な環境の中で、自他を認め合いながら、自己実現できる学校
 - 安心して学べる学校
 - 元気な明るい声が響く学校
 - 多様性を尊重する学校
 - 【目指す子ども像】
自ら学び、考え、判断し、表現できる子
 - 他者の良さや考えを認められる子
 - 主体的に自分の考えを伝えられる子
 - たくましい心と体をもった子
 - 自ら考え、行動できる子
 - 【目指す教職員像】
常に、子どものよりよい将来の姿を見据える教職員
 - 明るく元気な教職員
 - 高い専門性を身に付けた教職員
 - 豊かな人間性を備えた教職員
 - 人権感覚に優れた教職員

児童の声

- 南山の森など豊かな自然があり、広い校庭で元気いっぱい遊べます。みんなが仲よく伸び伸びと過ごしています。
- バリエーション豊かな手作り給食が毎日楽しみ。
- いろいろなバックグラウンドをもった人が集まるので楽しい。

保護者・地域の声

- 都会のご真ん中にありながら四季の移ろいを感じさせる南山の森はオアシスそのもの。学年を超えて全校児童の仲がよく、特に高学年が低学年の面倒をよく見てくれてうれしい。

特色ある教育活動

徳 友だちとなかよく協力


- 自分を大切にし、他者を思いやる心の育成
- 協調性と規範意識の醸成
 - ・全教育活動を通じた道徳教育の充実(カリキュラム・マネジメント)
 - ・生活指導の充実
 - ・特別活動の充実
 - *本物に触れる







知 よく考え最後までやり抜く

- 生きて働く力の確実な定着
 - ・学習指導要領の趣旨徹底
 - ・家庭教育との連携
- 21世紀型考える力の育成
 - ・プログラミング教育(情報モラル)
 - ・SDGsを目指す教育活動
- 校内研究の充実
*[Nanzan Style]の定着



体 じょうぶで明るく

- 運動を愛好し、基本的な生活習慣の確立
 - ・正しい食習慣・食育の充実
 - ・望ましい生活リズムの確立
 - ・体育授業の充実
 - ・コーディネーション・トレーニングの導入
 - ・体育的活動の充実






特別支援教育の推進

- 特別支援教室での指導の充実
 - ・一人一人の特性や発達に応じた指導の充実
 - ・個別指導と小集団指導の効果的活用
- 誰もが「分かる」「できる」「楽しい」と実感
 - ・通常の学級、保護者、関係諸機関との連携
 - ・校内特別支援委員会の充実
 - ・個別的教育支援計画と個別の指導計画の適宜見直し

国際理解教育、日本の伝統文化体験

- 2020レガシーの継承(アスリートとの交流など)
- 英語を用いたコミュニケーション能力の育成
- 伝統文化に触れる、体験する場や機会の設定(隈取、江戸小紋、和作法、茶道、和楽器、正月遊びなど)
- 地域及び企業等と連携した教育活動

English Support Course

南山小学校の通常の学級に外国人児童を受け入れ、英語力の高いEnglish Support Teacherを各学年に1名配置します。講師は、外国人児童のサポートを行い、国語・算数などは、英語を用いて別途授業を行います。日本人児童・外国人児童の双方が、学習や遊びを通して多様な文化や価値観に触れ、楽しく学びを深めています。

- 入級条件：数年間の日本滞在を予定している港区在住の外国人児童(外国籍のみ)で、英語能力を有すること
- 受入児童数：1学年10名以内(受け入れる学級を固定し、外国人児童が安心して学べるようにしています)



本村小学校



校名の由来

江戸時代前にこの辺り一帯を元村(もとむら)と言っていたのが、本村(ほんむら)と呼ぶように変わりました。麻布の中心という意味とも言われています。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 山崎 高志

所在地 港区南麻布3-9-33

電話番号 3473-1462

HPアドレス <https://hommura-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/honmuraes>

交通 日比谷線 広尾駅 徒歩10分
南北線・大江戸線 麻布十番駅 徒歩15分

特別支援学級 知的障害(若竹学級) 固定学級

職員数 28名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学級	2	2	2	2	2	2	3	15
児童数	70	58	60	55	65	56	18	382

教育目標

- すすんで学ぶ子
- ひとの気持ちを考える子
- 体をきたえる子

学校の沿革

明治35年 4月 東京市本村尋常小学校開校

昭和22年 4月 港区立本村小学校と改称

昭和34年 3月 鉄筋3階建て校舎になる

平成3年 3月 新校舎改築(現在の校舎)

平成14年 11月 開校100周年

平成22年 2月 屋上に太陽光発電装置を設置

平成24年 11月 開校110周年

平成25・26年度 港区教育委員会研究奨励校

平成28年 12月~ 校庭改修(人工芝)

平成29年 10月 開校115周年

令和2年 8月 全館LED工事

令和3年 11月 港区教育委員会研究奨励校研究発表

令和4年 11月 開校120周年記念式典

令和4年 11月 学校地域協同本部設置

総合的な学習の時間

- 子どもが自ら課題を見付け、自ら学び主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力を育てます。
- 企業や地域と連携したキャリア教育を充実させ、子どもたちの夢の実現を応援、支援したり、自分の進路を自分で決めていく主体性を育てます。

学校の特徴

- 基礎・基本の知識や技能を定着させ、思考力・表現力を育成します。
 - ・主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の活動を取り入れた協働的な学習を通して思考力・判断力・表現力を育成し、創造性を伸ばします。
 - ・体験的な活動を取り入れたり、外部講師を招いたりして授業を充実させ、実感を伴った問題解決活動を通して理解が深まるように導いていきます。
 - ・ICTを活用した学習活動を積極的に導入し、情報活用能力の伸長を図り、学習効果を高めます。
 - ・幼・小中一貫教育を念頭に入れ、本村幼稚園、併小、高陵中学校による高陵アカデミーの連携を充実させ、円滑な就学及び教育活動ができるように努めています。
- 児童理解と児童の心の絆を大切に、豊かな心を育成します。
 - ・異学年交流をはじめ、若竹学級や併設幼稚園、近隣保育園、中学校などの異校種との交流活動を行い、豊かな人間関係を育てていきます。
 - ・インターナショナルスクールや各国大使館などとの交流を行い、国際理解能力の涵養(かんよう)を図ります。
 - ・学校全体で取り組むポジティブな行動支援(スクールワイドPBS)を行い、児童のより良い行動を育てていきます。
- 安心で安全な学校を目指します。
 - ・本村小地区防災協議会と連携を図り、地域防災訓練や安全教室、地域安全マップの作成など具体的な体験活動を通して、児童自ら安全意識を高められる教育を行っています。
 - ・施設設備の安全点検を計画的に実施しています。また、PTAなどの協力のもと地域安全パトロール、通学路点検を実施し、不審者対策・交通安全対策も行っています。地域全体で子どもたちの安全を見守っています。

こんな学校を目指しています

- 幸せな(わくわくする)学校
今日が楽しく、明日も来たい(期待)学校を目指します。
 - 教育スローガン「全力でやさしくあれ」を大切に取り組みます。
 - 今年度の取組目標 社会に出て、自分の得意を生かして人の役に立ちたいと思う子が育つ学校
- 重点取組 人権教育に根差したやさしい心を育むとともに、規範意識を醸成する学校づくりに取り組みます。
- (1)自分を大切にするとともにお互いのよさを認め合い協力できる児童を育てます。
 - ・「あんぜん、あいさつ、あつまり、あとしまつ」の4つの「あ」を重視します。
 - ・毎月の生活アンケートによる未然防止・早期発見・早期対応を徹底し、いじめ防止に取り組みます。
 - (2)多様性を生かした教育活動を推進します。
 - ・併設の本村幼稚園と合同運動会、給食、授業等を通して日常的に交流します。
 - ・若竹学級(特別支援学級)、なでしこルーム(特別支援教室)を充実させます。
 - ・縦割り班活動を通してやさしい心を育てます。
 - (3)規範意識を醸成します。
 - ・本村スタンダード・本村SNSルールを徹底します。
 - ・特別活動を充実させ、自分で考えて行動する児童を育成します。

児童の声

- 月に1度のロング昼休みでは、広い校庭で思い切り遊ぶことができ、とっても楽しみです。
- おうちの人が読み聞かせをしてくれたり、図書館には読みたい本がたくさんあり、本を読むことが大好きになりました。
- 本村幼稚園の園庭で一緒に遊んだり、いろいろな活動を一緒にしたりして、楽しいです。幼稚園の子はとってもかわいいです。

課外活動も充実

本村小学校には、PTA公認友好スポーツ団体として4つのクラブがあります。「バスケットボール」「野球」「サッカー」「チアダンス」です。区や東京都の大会に出場し、優秀な成績を修めています。

充実した学校設備

プールは室内にあり、水泳学習の時間を楽しんでいます。人工芝の美しい校庭で毎日元気に遊んでいます。



オープン教室



校庭(人工芝)



体育館(冷暖房完備)



室内温水プール

なかよし班活動

1~6年生の異学年交流に取り組んでいます。昼休みを活用して、異年齢集団によるなかよし班遊びでは、6年生を中心に企画して遊び、学年の枠を超えて仲良くなります。



なかよし班話し合い

交流活動の充実

アカデミー校の高陵中学校との挨拶運動や、併小との高陵地区スポーツ交流等の活動がとっても充実しています。

保護者・地域の声

- 合同運動会、音楽会、児童集会などで一人一人が活躍している姿が見られとても嬉しいです。
- ゲストティーチャーを招いた様々な授業や読書チャレンジ、保護者ボランティアによる読み聞かせ等、子どもの心が豊かになる体験をさせていただいています。

体力づくり

年間を通じて、体づくり運動や縄跳び等を行い、子どもたちの体力増進や運動習慣を高めます。



運動委員会の企画による的あて

伝統ある学校

令和5年度、本村小学校は、開校121年を迎えます。明治35年に開校してから卒業生も1万2千人を越えます。

本村幼稚園との交流の充実

併設の本村幼稚園とは行事、遊び等年間を通して日常的に交流しています。



園児との交流リレー

豊富な体験学習

企業や地域の方を招いてのキャリア教育、近隣のお店との交流、体験的な学習を多く行っています。



キャリア教育

学童クラブの紹介

本校には、学童クラブや、放課後子どもを預かる放課GO→ほんむらが充実しています。学校敷地内に設置されていますので、移動も安全です。児童は最大19時まで学童クラブに滞在でき、保護者の方も、安心して働くことができます。



- ①昔、天慶の乱(939年)、武士が龍川を渡るとき、見張りの武士に通行を断られたため、味方の証拠として刀の「箕」を与え、敵意のないことを示し、渡ることができました。この後、「箕橋」と呼ばれるようになりました。
- ②甲賀・伊賀の屋敷がこの地にあり、龍川の橋の名を甲賀伊賀橋としたことから、後に「こうがい橋(箕橋)」と呼ばれるようになりました。この箕橋にちなんで、箕町となり、箕小と名付けました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 矢部 洋一

所在地 港区西麻布3-11-16

電話番号 3404-1530

HPアドレス <https://kougai-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/kogaies>

交通 日比谷線 広尾駅 徒歩7分

職員数 35名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本語	合計
学級	3	3	3	3	3	2	2	19
児童数	76	95	85	93	84	72	—	505

教育目標

気づき 考え 進んでおこなう 箕の子ども

学校の沿革

明治40年 東京市箕尋常高等小学校開校

明治41年 東京市箕尋常小学校と改称

大正15年 鉄筋校舎落成

昭和11年 校舎改築、校歌制定

昭和16年 箕国民学校と改称

昭和22年 港区立箕小学校と改称

昭和51年 校舎改築

平成3年 日本語学級設置

平成15・16年度 港区教育委員会研究奨励校

平成19年 開校100周年記念式典挙行

平成21・22年度 港区教育委員会研究奨励校

平成24・25年度 港区教育委員会研究奨励校

平成28・29年度 港区教育委員会研究奨励校

平成29年 全国学級経営研究大会、東京都学級経営研究大会、道徳教育推進拠点校、開校110周年

令和元年 体育館冷暖房設置

総合的な学習の時間

- 「国際理解教育授業」では、国際性豊かな地域の特色を生かしながら、外部講師をお招きするなどして国際理解教育に取り組んでいます。令和5年度も大使館と連携して外国の方との交流を行います。外国の文化を学ぶとともに自国のよさについて学んでいくことで、広い視野で物事を捉える国際感覚を身に付けます。

学校の特徴

- 外国人児童や帰国児童が、日本の文化や言葉を習得するために、「日本語学級」を設置しています。
- 国際性豊かな地域性を生かして、世界の人や文化を理解し、尊重する態度を育成するために「ワールド活動」「世界を知ろうわくわく教室(国際理解授業)」を行います。
- 地域の特色を生かして体験型・参観型の美術館教育を取り入れ、豊かな感性を培います。
- 6年生全児童が「箕鼓笛隊」を編成し、全校朝会や行事で演奏活動をしています。
- 「キャリアパスポートデー」では、多くの企業による出前授業を通して、児童に勤労観・職業観を形成させていきます。
- 温かく見守ってくださる地域の方や、PTA・OBの方達の力強い協力をいただいています。

こんな学校を目指しています

- 教育目標「気づき、考え、進んでおこなう箕の子ども」
- 児童が自ら考え、表現する機会を大切にします。
 - 「話すこと・聞くこと」の指導を研究し、成果を国語の授業や学級経営に生かします。
 - 直接体験や人との交流活動を積極的に行います。
 - 多様性を理解し、人権を傷付ける行為は絶対に許さない学校風土をつくります。
 - 体育授業を中心に体力向上に努めるとともに、健康・安全教育を推進します。
 - 保護者や地域と連携を密にし、「信頼される学校」「地域とともに歩む学校」を目指します。

児童の声

- 毎週全校朝会で、6年生の鼓笛隊演奏に合わせて、全校児童で校歌を歌います。
- なかよし班活動で、他の学年の子と交流しています。
- キャリアパスポートデーや、国際理解教育など、様々な授業があります。

クラブ活動の紹介

児童は11あるクラブの中から、自分の興味関心に応じたクラブを選択し、自ら主体的に計画を立て、お互いに協力して活動に取り組んでいます。

校内研究主題

伝え合い、学び合う児童の育成
～国語科の話し合いを通して～

国語科「話すこと・聞くこと」の領域から、話し合うことに焦点を当て、校内研究を進めます。伝え合う力の育成をするため、指導の工夫を行います。

児童会活動の紹介

毎月1回、月曜日の6校時に委員会活動を行っています。それぞれの委員会ごとに、自分たちの役割に責任をもって取り組んでいます。代表委員会は高陵アカデミー子どもサミットに参加し、本村小学校・高陵中学校と協力して、学校全体でできることなどを話し合い、実践しています。

学校生活の様子



箕オリンピック



鼓笛隊



のびのびタイム



キャリアパスポートデー



あいさつ運動



国際理解授業

日本語学級

日本語や日本文化を習得するための学級です。2学級、3名の教員が個別指導、グループ指導にあたっています。様々な国の児童が在籍し、各自が将来を見通した目標をもち、学習に取り組んでいます。ワールド活動では、自分の国について調べたことをICTを活用して発表します。体験を通じた言葉の学びを大切に、茶道や昔遊び、野菜作りからの食育など様々な体験学習を通してお互いの理解と交流を深めています。



指導法の工夫

- さわやかタイム
毎月1回、朝の時間に色々な音楽遊び等を通して音楽の楽しさを感じ取らせます。
- のびのびタイム
毎月1回、朝の時間に長縄や短縄、持久走などに取り組み、運動の習慣化をさせることで体力向上を図ります。
- クラスタイム
朝の時間に、各学級ごとでそれぞれの活動を行います。自主的・協力的な態度を育てます。
- 教科担任制
4、6年生は国際担当の講師が、5年生は国際担当教員が授業を行います。



ひがしまちしょうがっこう

東町小学校

東町小学校



校名の由来

善福寺の門前町の東に位置することから、町の地名を東町としました。そして、その地域の学校として東町小学校となりました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 橋本 勇一

所在地 港区南麻布1-8-11

電話番号 3451-7726

HPアドレス <https://higashimachi-es.minato-tyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/higashimachies>

交通 南北線 麻布十番駅 徒歩5分
大江戸線 麻布十番駅 徒歩10分

職員数 29名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	3	3	3	3	2	2	16
児童数	75	81	75	83	78	69	461

教育目標

- 明るい子
- よく考える子
- やりぬく子
- 思いやりのある子

学校の沿革

大正 2年 11月 東町尋常小学校開校

昭和 20年 5月 戦災により校舎全焼

昭和 21年 3月 廃校となり本村小学校で合併式挙行

昭和 30年 4月 本村小学校で復興開校式挙行

昭和 30年 7月 新校舎(現在地)へ移転

平成 12年 南海小学校からつばみ学級移転

平成 17・18年度 港区教育委員会研究パイロット校

平成 24年 English Support Course (国際学級) 設置

平成 25年 11月 開校 100周年記念式典挙行

平成 25・26年度 港区教育委員会研究奨励校

平成 28年 4月 プレハブ新校舎建設

平成 31年 3月 つばみ学級閉級

令和 5年 11月 開校 110周年

総合的な学習の時間

- 3年生以上の学年で実施
- ・見つける力
- ・伝える力
- ・計画する力
- ・まとめる力
- ・調べる力
- ・振り返る力

以上の力を育てることをねらいとします。

- 内容
 - ・地域
 - ・環境
 - ・福祉
 - ・情報
 - ・国際
 - ・自己
 上記の各内容を設定し、各学年ごとにテーマを決めて学習します。
- <主な内容>
 - 3年生・・・「わが町・東町」地域探検 ・地域安全マップ
 - 4年生・・・自然災害に備えよう ・10年を振り返ろう
 - 5年生・・・国際理解 世界と日本の比較
 - 6年生・・・移動教室に向けて 情報安全について

学校の特徴

- ESC 設置校として、外国の文化や外国語に触れることができる学校環境
(各学年にESTを配置、英文の便りの発行、英語表記の校内環境)
※ESC・・・English Support Course
※EST・・・English Support Teacher
- 1年生から6年生までの縦割り活動(ファミリー活動)を大切にした学校生活
- 日本文化の時間(茶道・和太鼓・将棋)を実施
- 整備された環境(校庭人工芝・茶室・ピオトープなど)での教育活動
- 地域と連携した教育活動

こんな学校を目指しています

- 安全・安定・安心を大切にしたいAAA(トリプルA)の学校を目指します。
- 1つめのA・・・安全な学校
安全を第一に、教職員が常に危機管理意識をもって日々の教育活動に努め、児童自ら自分の安全は自分で守るという意識や態度を身に付けることができる学校
- 2つめのA・・・安定した学校
共感的理解に基づいた生活環境で、児童自ら居心地のよさを感じることができるとともに、学習規律が徹底された学習環境で、学習内容の基礎・基本の定着を図ることができる学校
- 3つめのA・・・安心できる学校
子どもが学校に来ることが楽しみで、保護者が安心して任せられる学校、学校での教育活動が、地域や保護者によく理解され、よりよい教育の実現に向けて、学校・家庭・地域の連携・協力が図られている学校

児童の声

- いろいろな国の友達ができたり、たくさんの外国の文化を知れたりすることができる。
- 給食で、世界の国々の料理や調理さんの手作りのパンが食べられる。
- International Assemblyとか、日本文化の時間とか、東町小学校ならではの行事がある。

特色ある教育活動

- 国際色豊かな東町小学校の子ども
 - ◇国際理解教育の推進
 - ・教室で外国語に触れる環境づくり
 - ・International Assembly(国際科集会)での発表会
 - ◇異文化理解教育の推進
 - ・人権教育、食育、ゲストティーチャーによる異文化理解
 - ・他国の文化を知ることの学習(生活科・総合的な学習の時間等)
 - ◇外国籍児童への支援
 - ・ESC(English Support Course)での英語による学習
 - ・EST(English Support Teacher)による英語のサポート
- 異学年集団活動
 - ◇1年生から6年生までの縦割り班活動(ファミリー活動)を大切にしたい学校生活
 - ・ファミリー遊び
- 日本文化理解
 - ◇日本文化の時間を年間6回実施
 - ・上学年は、茶道、和太鼓、将棋を体験
 - ・下学年は、折り紙、カルタ、動物将棋、百人一首、昔遊び等を体験
- 体力づくり
 - ◇人工芝の整備された運動環境
 - ・なわとび月間
 - ・全児童の体力テスト実施
- 地域との連携
 - ◇地域と連携した教育活動の充実
 - ・地域と連携した避難訓練
 - ・夏休みラジオ体操の実施

校内研究主題

「自分や友達を大切に学校・地域を愛する子ども」

English Support Course

- 東町小学校の通常の学級に外国人児童を受け入れ、英語力の高いEnglish Support Teacherを学年に1~2名配置します。講師は、外国人児童に英語を用いて国語、算数などの授業を行います。
- 入級条件：2~3年間の日本滞在を予定している港区在住の外国人児童(外国籍のみ)で、英語能力を有すること
- 受入児童数：1学年10名以内(令和元年度から、受け入れる学級を学年1学級に固定し、外国人児童が安心して学べるようにしています)

学校生活の様子

国際色豊かな東町小学校の子ども



国際科の授業



ESC(English Support Course)

ファミリー活動(異学年集団での活動)



ファミリー遊び



ファミリー清掃

学校行事



運動会



International Assembly

体力づくり



なわとび月間

日本文化の時間



将棋



茶道



和太鼓

地域と連携して



合同避難訓練



夏休みラジオ体操



校名の由来

江戸時代にこの地に屋敷を構えた青山公の領地から、青山の地名がつけられ、その青山で最初の小学校として現在の校名となりました。

学校概要

令和5年5月1日現在

校長 可児 亜希子

所在地 港区南青山2-21-2

電話番号 3403-5588

HPアドレス <https://aoyama-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/aoyamaes>

交通 銀座線 外苑前駅 徒歩2分

特別支援学級 知的障害(あすなろ学級) 固定学級

職員数 22名



学級数・児童数

令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学級	1	1	1	1	1	2	4	11
児童数	24	22	32	32	20	49	29	208

教育目標

- やさしい心もち なかよくする子
- よく考え すすんで学ぶ子
- 健康で たくましい子

学校の沿革

明治 8年 9月 南青山4丁目を開校

昭和 50年 11月 開校100周年記念式典挙行

平成 16年 3月 ホタルの飼育を開始

平成 21年 2月 ICTを用いた授業実践NEXTプロジェクト発表

平成 24・25年度 タブレットPCやデジタル教科書を活用した授業改善の報告会、発表会の開催

平成 27年 11月 開校140周年記念式典挙行

平成 29年度 平成29年度東京都小学校視聴覚教育研究大会

平成 29・30年度 港区教育委員会研究奨励校

令和 2年度 開校145周年記念集会・音楽会挙行

令和 3年度 SDGsに向けた取り組み本格始動 風力発電・ソーラー発電・ピオトップ修理完了

令和 4年度 虫の楽園が完成

総合的な学習の時間

- 総合的な学習(を含む全ての学習)は、SDGsの実現に向けて行われます。
- 「いじめゼロプロジェクト」は全学年で行います。
- 【3年生】
 - ・青山の地域、商店や公共施設の学習を通して、地域への愛着心と地域の一員としての自覚を育てます。
 - ・フードロス課題や様々な立場の食に対する取組の学習を通して、食や食文化に対する理解を深めます。

- ・社会科と連携し、地域に残る昔、文化、歴史を学び、郷土愛を育てます。
- 【4年生】
 - ・あさぎの自然教室での水源林学習やサントリー(株)とのコラボ授業「水育」、社会科の学習等とも関連させ、「水」をテーマにした「持続可能な水資源の確保」についての学習を展開します。
 - ・青山特別支援学校との交流学習を通して、共生社会の実現に向けた学習を行います。
 - ・自己の成長を振り返り、自己肯定感を培うとともに、未来への展望をもち、命の尊さや豊かさを学びます。
- 【5年生】
 - ・港区赤坂地区総合支所と連携して、人にやさしい青山の街づくりに関する取組について学び「人権教育」をテーマにした学習と持続可能な取組を展開します。
 - ・年間を通してパルシステムとのコラボ授業「米作り」に取り組み、持続可能な食糧生産について学びます。
 - ・箱根夏季学園の自然体験活動を通し、箱根の自然環境と環境保全に取り組む人々の役割について学習します。
- 【6年生】
 - ・租税教室や経済教室において、ゲストティーチャーから税金の使われ方や我が国の経済活動の仕組みについて学習します。
 - ・箱根移動教室の学習を通して、箱根の歴史や文化について学びを深め、文化遺産や自然を守る意義を学びます。
 - ・キャリア教育を通して、夢や目標をもち、自己実現のための具体的な道筋を学ぶ中で、進路選択の視点や働くことの意義を理解します。
 - ・地域の方々から空襲や学童疎開についての体験談を伺い、平和学習に取り組めます。

学校の特徴

- 全校児童数が210名程度の小規模校ならではの、「青山小学校でしかできない」取組をたくさん行っている学校です。主なものとしては
- 校内での異学年交流及び地域との交流学習、月に1回のたてわり班活動
- 近隣の様々な企業や団体、地域と連携して取り組む、将来に生きてはたらく体験学習
- 専門性を生かした1年生からの音楽・図工の専科授業
- PTA有志、地域の皆様の協力による課外部活動

こんな学校を目指しています

- 人間を愛し、地球を愛し、平和を愛する青山小学校～持続可能な社会の創り手となる人材を育てる学校～
- 学校教育の2本柱「協働して持続可能な社会を創る力」(ESD) SDGsの実現に向かって。「他者を思いやり、自らいじめをなくす実践に取り組む力」(人権教育)
- 保護者や地域と協働して、言葉を大切に、互いに認め合い、尊重し合う児童を育成する学校
- 一人一人の願いを受け止め、誠意をもって対応する安心・安全、安定した学校
- わかる喜びや学ぶ楽しさを実感できる授業・行事を展開する学校
- 児童・保護者・地域と協働してつくる笑顔あふれる、地域に誇れる学校



校門から続く緑の小道「グリーンロード」

児童の声

- 校庭が全部人工芝で、休み時間や体育で思いきり走ったり、遊んだりできます。
- 各学年でSDGsに関する学習や取組をしていて、一人一人が地球環境のことを真剣に考えています。
- あいさつ運動やいじめゼロプロジェクトを全校で取り組み、明るく楽しい学校づくりを目指しています。
- たてわり班活動が月に1回あり、学年の枠を超えて仲良くなるのができます。
- 給食がとても美味しく、毎日が楽しみです。残菜が少ないことも自慢です。
- プラスバンド部では地域で演奏することを目標に練習しています。
- 放課後にPTAや地域の方が中心となって行う課外の部活動があります。

保護者・地域の声

- 学年の枠を超えた交流が盛んで、先生方も児童一人一人に対して迅速にきめ細やかに対応してくれています。小規模校のよさが随所に見られます。
- 秋には神宮外苑のいちよう並木、春には青山霊園の桜並木、近くには大きな公園等があり、緑豊かな美しい自然環境の中で学ぶことができます。
- 協働・連携可能な企業が近隣に多くあり、SDGsの実現に向けた教育活動が充実しています。

校内研究主題

「物事をより広く、深く考え、自分事として発信・行動できる児童の育成～青小が始める持続可能な社会づくり～」

特色ある教育活動

- 歴史と伝統に支えられて開校148周年
 - ・貴重なものがいっぱい資料室
 - ・日本の伝統芸能を体験学習
- 特別支援学級「あすなろ学級」
 - ・経験豊かな専門の教職員によるきめ細やかな支援体制
- 企業や団体と連携した多彩な学習活動
 - ・地域の方を講師として招いての書道教室・制作活動
 - ・周囲に並ぶ大企業への見学や企業体験、コラボ学習
- 自らいじめをなくす実践
 - ・児童発信の「いじめゼロプロジェクト」
- 交流学習の充実
 - ・高学年児童から低学年児童、保育園児への読み聞かせ
 - ・通常の学級の児童と特別支援学級の児童、特別支援学校との交流

- ・学習を通じた地域の方々との交流活動
- 強い絆の「縦割り班活動」
 - ・あいさつ運動、地域清掃、毎月のたてわり班遊び
- ICTを活用した先進の学習活動
 - ・タブレット端末を活用した個別最適化された学習
 - ・デジタル教科書と電子黒板を使ったわかりやすい授業
- 地域に根付き、地域との交流の要となるプラスバンドの活動
- 主体的な読書活動の推進
 - ・学校図書館司書・学校図書館支援員による学校図書館運営の充実
 - ・保護者や地域の学校図書館ボランティアスタッフによる月1回の読み聞かせ、図書館の環境整備

PTA活動

- 放課後部活動
 - PTA有志と地域の皆様、専任コーチで運営する8つの部活動
- 地域との連携
 - 郡上市との田舎夏休み体験交流、地区委員会主催の多様なイベント(青山みんなで走ろう会・スキー・スケート教室他)
- 運動会等の学校行事への支援、青小フェスティバルの実施
- 青小図書館ボランティアスタッフ(おはなし青山)による学校図書館の環境整備と読み聞かせ

学校生活の様子



交通安全教室(赤坂警察署)



書初め会(書道家)



みつばちの環境学習



青山小部活動(生き物部)



マングローブ植樹の環境学習



海洋ゴミに関する環境学習(大学教授)



プラスバンド演奏



あいさつ運動



青南小学校



校名の由来 当時の青山南町6丁目（現在の所在地）に学校を設置したことから、青南小学校と名付けました。

学校概要 令和5年5月1日現在

校長 野口 直樹

所在地 港区南青山4-21-15

電話番号 3404-8608

HPアドレス <https://seinan-es.minato-kyo.ed.jp/>

Twitterアドレス <https://twitter.com/seinanes>

交通 銀座線・千代田線・半蔵門線 表参道駅 徒歩5分

職員数 36名




学級数・児童数 令和5年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	4	4	4	4	3	3	22
児童数	138	127	105	106	103	100	679

教育目標

- よく考える子
- 思いやりのある子
- 体をきたえる子



青南小学校の教育目標

学校の沿革

明治39年 9月 青南小学校開校

明治39年 11月 開校式典挙行

明治41年 4月 青南尋常小学校へ

昭和11年 4月 新校舎落成

昭和16年 4月 青南国民学校へ

昭和22年 4月 港区立青南小学校へ改称

昭和56年 4月 新校舎落成

平成18年 11月 開校100周年

平成19・20年度 港区教育委員会研究奨励校

平成25年 4月 東京都理数フロンティア校

平成28年 3月 第2校庭拡張工事完了

平成28年 11月 開校110周年

平成29年 10月 体育館天井改修及び冷暖房設置

平成30年 10月 校庭人工芝工事完了

令和3年 11月 開校115周年

総合的な学習の時間

- 自己の生き方につながる学びを児童自らが経験できるようにする。「かかわり」「体験活動」を基本とし、課題設定をし、意欲的に探究し、学んだことを伝え、生かしていく。
- 3年生 地域の特色・キャリア教育に基づいた課題
- 4年生 自然科学教育・キャリア教育に基づいた課題
- 5年生 食育・キャリア教育に基づいた課題
- 6年生 環境教育・キャリア教育に基づいた課題

学校の特徴

- 南青山の緑に囲まれた環境の中で、国内外に著名な文筆家や芸術家、政財界で活躍する多くの先輩を輩出する116年の歴史と伝統のある学校です。
- 全22学級の全校児童を44班に分けた縦割り班で集会活動や集団遊びを行うなど、学年を超えての交流を推進しています。
- 外部の専門家や地域の人材・保護者や関係機関と連携を図り、文化・芸術施設を活用し、感性を豊かに育てるための多彩な体験活動を大切にしています。
- 理科・生活科教育の推進に力を入れ、理科公開講座を開催しています。「くらしに見つけ くらしに広げる 理科・生活科学習 ～もう一度 やってみたいためしてみよう～」をテーマに、学校・家庭・地域が連携した自然・科学とのかかわりを重視した内容を取り入れています。

こんな学校を目指しています

- 子どもたちが心豊かに、知性にあふれ、心身ともに健康に育っていくために「学力の向上」「社会性の育成」「健康な心や体」を実現するための教育活動を展開します。
- 「気品と風格にあふれた＜国際人＞青南の子」をキャッチフレーズに、青南小学校のよき伝統を受け継ぎ、心身共に健康で、国際社会で信頼される人間の育成を目指します。
- 10年後20年後を見据え、次の3つの力の向上を目指して教育活動を行います。

<人間関係形成>多様な他者とよりよく関わろうとします。

<社会参画>所属する集団の一員としての役割を果たそうとします。

<自己実現>『なりたい自分』に近づこうと努力します。

この3つの力が調和し、毎日、自分を振り返り、『自分自身にありがとう』と言える児童を育むことにより、「いつでもどこでも青南の子」が実現します。

児童の声

- よりよく、より楽しい学校づくりを目指し、代表委員児童や6年生が中心となり、様々な特別活動を主体的に行っています。
- 令和5年度開校117周年行事は、代表委員会を中心に計画・運営を行っています。
- 縦割り班活動が充実しています。例えば、朝に正門前に立ち、登校する人にあいさつをし、笑顔を広げる「あいさつ運動」を行っています。地域の方々とも自然にあいさつを交わっています。この運動を行うことで、朝から気持ちよく学校生活を送ることができます。
- 自然豊かな学校です。OB・OGやPTAの方が中心となって活動している「青南ガーデニングクラブ」があり、学校の周りは四季に応じた素敵な花がガーデニングされています。また、ミニ日本庭園にある池には、たくさんの鯉が泳いでいます。大きな2本の桜やくすのきなど、私たちを見守ってくれています。
- とてもおいしい給食を食べられます。いつも楽しみです。
- 理科・生活科の授業で、様々な実験や観察、活動ができます。3年理科の学習では、チョウの成長を身近に学ぶことができました。
- 卒業生には、中村草田男さん、オノ・ヨーコさんなど多くの著名人がいます。毎年2月には「草田男展」があり、全校で俳句を作っています。

クラブ活動の紹介

体育館運動、卓球、ソフトボール、iPad、科学・実験、伝統文化、イラスト・マンガ、アート、ボードゲーム、サッカー、ダンス、研究、手芸

児童会活動の紹介

BSC（代表委員会）、計画委員会、音楽委員会、放送委員会、図書委員会、保健委員会、給食委員会、運動委員会、栽培委員会、環境委員会、集会委員会、広報委員会

特色ある教育活動

- 学力の向上**
 - ・一人一人が何を学ぶかを意識し、何を学んだかを自覚できるようにする
 - ・課題発見と解決に向け、主体的な学び・対話的な学び・深い学びを取り入れていく
 - ・算数科では少人数指導を実施し、「考える力」「活用する力」を育て、学ぶ楽しさを味わわせる授業を展開する
 - ・理科教育の推進
 - ・体験的な学習を積極的に取り入れる
 - ・読書指導：「青南100冊」の活用
 - ・読書マラソン
 - ・本物にふれる：青南文化芸術サロン構想
- 社会性の育成**
 - ・あいさつを重視した教育活動の展開（「あいさつと笑顔あふれる青南小学校」）
 - ・縦割り班を活用した異学年交流
 - ・青山アカデミー（青南小学校・青南幼稚園・青山小学校・青山中学校の交流活動）
 - ・さわやか活動（ボランティア活動）
 - ・生き方を学ぶ（キャリア教育）
 - ・自治的自発的活動（特別活動の充実）
 - ・縦割りあいさつ運動
 - ・特別活動の充実
- 健康な心と体**
 - ・運動する楽しさに気づき、自ら課題解決できる体育学習の充実
 - ・生活習慣の確立：「早寝・早起き・朝ご飯」
 - ・食育の推進（理科教育との連携）
 - ・安全（防災・交通・不審者・生命の尊さ）に対する指導
 - ・いじめ防止への取組の重視
- 地域・保護者・関係機関と連携した多彩な活動**
 - ・金管バンド「Blue Heart」
 - ・青南SC（陸上を中心とした運動クラブ）
 - ・おはなしポケット（保護者による読み聞かせ）
 - ・青南ガーデニングクラブ（ボランティアによる植栽の充実）



ICTを活用した授業



縦割り班活動




読書指導「青南図書館」



地域との交流学習

学校生活の様子

★青南小学校【ホームページ：<https://seinan-es.minato-kyo.ed.jp/>】
【Twitter：<https://twitter.com/seinanes>】で学校の様子を紹介しています。



Twitter
<https://twitter.com/seinanes>

校内研究主題

「自分の考えをもち、進んで表現する児童の育成
～「書くこと」の指導を通して～」
教科：国語科

年間行事

- 運動会
- 学会
- 開校117周年記念日：11月18日（土）

PTA活動

子どもたちのために、いつも本当にありがとうございます。